

非暴力直接行動

MO. 117

9月10日'81

戦争抵抗者、インターナショナル日本部(WRI) 大阪市阿倍野区旭町2-12-2 ウリ大阪発行

war resisters' international

カマ夏祭りの舞台から

オチ、オチ、オチ

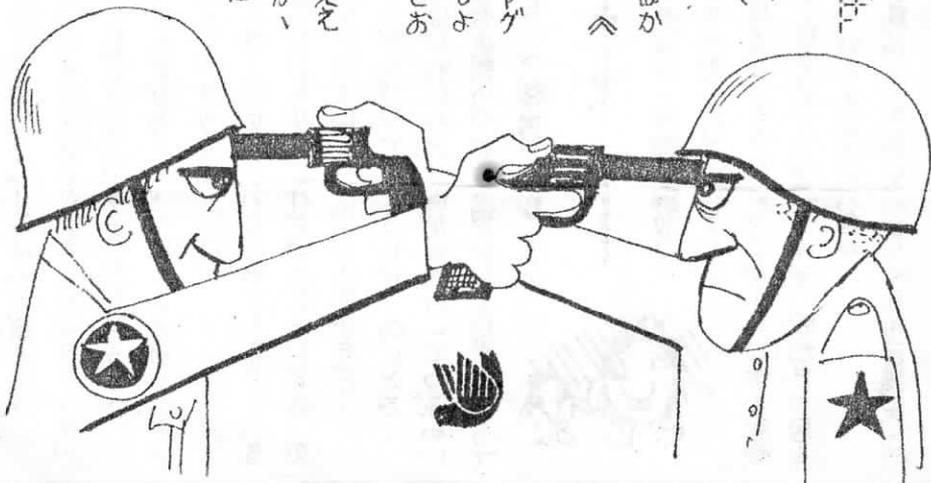
「これからお祭りにいくんよ。知ってるおねえちゃんか何かやるんや」と子供らにとうと、綿菓子や金魚すくい、そんな期待で、大はしゃぎ。ところが、着いたところがカマガサキの三角公園！日焼してさまざまなかっこうをした労働者たちが、うわあーとばかり集まっついで、そのまん中にたてられたヤグラのムシロ横には、釜が崎稲敷ノヤ十回夏祭り、大きな文字。

12日から15日までお盆休みの四日間の、今日は最終日。折しもヤグラの上のスピーカーが、勝ゆきすもう大会の実況放送中。どなるような大声でやっていて、勝負のたびに、かんきやらどよめきが、どおとあがる。

ところが、のぞきこんでもとび上つても、頭ばかりで土俵が見えない。子供が早速ブランコをみつけて乗ると、どぼのおつちやんが、「よつしや、おしたるでエ」そのよこで酔っぱらって、地べたにねころがつてるもう一人が、私に話しかけてきま。ちよつとばかり三人でせう話。

すもう大会が終わって、ゴザなどが敷き直されて、まづ、釜が崎解放戦士、五人の正道を前にして「追悼の黙祷」。さすがこのときは、しいくと静まりかえる。

さあ、カマの夏まつりで女性の登場は「前代未聞」という、いよいよ



▼読者の感想批評送れ!

Non-Violent Revolution

わがオンナたちの登場だ。

毎日の一番前に陣ごつて、拍手「まっつてましたア」と声をあげたが、一体どんなことになるのやら。ちよつと心配。

と、ふうせんが手にしたタイコ之音もトントンと一きわ高くあるいは軽く、四人のあですがた？が現われてきた。

「よー、ねえちゃん。ガンバレヨー」
「ありがとー。しつかりきいてやー」

はじめからなかなかエエ調子。まずは、オカモツヤンとふうせんへのかけ合い漫文は、不払い連恒例のへ前口上。ついであゆみちゃん、クロートもはだしで迷ぐるキワメ付き小断へ省エネ父ちゃん、大カツサイ。

そして最後の真打らはルリコはんのへ反原発三題ばなし「ハイみなさん、そもそもの原発の事故かくし、ナンでバレたか、知ってますか。アレはねエ、地計のヤクザがからんでるんやデエ。つまりヤクザが下請労働者にばけて、現場にしのびこんで、ナント事故の真相をとりよつた。ヤクザいうてもエライやつらや。それをタネに、一億回だせ、いうてエスツたんや。ところが、つるが原発、五千円やつたう……いうことでケチりよつたのがそもそもバシるはじまりや……」
身ぶり手ぶり声色よろしく、原発にことごとくいちゃもんつけるオンナのやさしくすまじい心意気。

「そうや、一番アブナイ仕事してるのはおれたちやぞア」
舞台まで握手いくのやら、立上つて拍手しつづけるのやら、「オイ、前の方、坐らんかい。みえへんぞ」 「おまえがじ

やまや。すわれすわれ」とにずやかなこと。

ふうせんがタイコをたーまながら、るりこはんと樹合の「さまでござらでもうそろそろ、なんかがオチをつりようかし」とたんに四人がぞろぞろつと舞台の前に出てきたと思うと、

一・二・三で、どたんどたん下へとびおりて、「ハイこの通り、オチましたア」で、満場拍手大カツサイ……

気がつく、二人の子供らは、私にもたれて、ねてしまっている。もう八時すぎだ。まだまだいたかつたけと帰ることにする。極道、自転車を押しながら坂を上つていくと、山二の子がきこ、

「おかあちゃん。ゲンバクとゲンパツと、どうちがうの」ときく。「周爆は一しゆんに、原発はじわじわと人肉が死ぬの」とつぶやいて空をみると、にごつた都会の街の中にも、星がにびい光を放つていた。電線のスキ間から。(杉原よし子)



▼9月14日・死刑廃止公会講座。於都庁解放センター。PM630 報告相原三郎さん。¥3000-



▼9月15日 もうひとつのポートピア。表観の教室、野外席。M1030〜430 於神戸三宮市役所南(公園南噴水前(無料))

▼9月16日 不払い連びつくり市民講座。於共同小屋つめくさ。PM630〜930 ¥3000-



▼9月19日 PM630 たんぽぽ市民講座へおなを組う不気味なまがじしー刑法改正保身処分死刑制度水戸巖さん。共同小屋……

非暴力直接行動へ入手希望の方は、送付用封筒

新聞 200円 2000円

ウリ支店にて取扱つてます。

(自分宛宛名をかき、60円切手(うち半額は70円)を貼付したものを6〜10枚を郵便所へお送り下さい)



お伊勢のまじりて エジヤまじりか

伊勢で三日四日の非業カトレーニングをやつた。そこは宮川の川つぶらの崖に建つていて、そりやもうええとく。オ三日目、河原で大船を出すトレーニングをやつて、ふとでてきたのがこのハブニングの、おいせまいりというわけだ。

ところでこの 宮川ちゆうのは、お伊勢さんの中を流れていて、そのため宮川流域に工場が殆ど建つてない。そやから水が汚れてなくて、ほんとにきれいなこと。さすがありがたいお伊勢さんや！天ちゃんや！そこで、帰りの、ちよつと、おいさつしていかーということになった……。

八月二四日、午後三時四五分。玉じやりの境内奥深く、千年杉にかこまれた伊勢神宮内宮前。並んだ一列横隊の男女九人の直立不動。ハタツと時音が静止した。

一列横隊の男女九人は、歩調をそろえてしずしずと石段をのぼりきる。と、そこがカシコクモ、オンレタクモ、ヤタが



9月21日 附6 30 反原カ力の日(6月行動実行委員会附4回) 附6 30 其間小風つゆくさ

リアくも、神殿の大まえ。原カイチヨウが両手を大きくふりあげ、オーケストラよろしく、タクトをふれば、まずは最ケイレイ一分間。

次なる先導者は、あゆみちゃん。いっせいに地べたに坐わる。「では邪気を払ひましょう」。胸に手をやり、大きく息をすう。すった息をおもいきりふきだしながらひれす。これ、活元の呼吸法なり。

「フーウ」「フウウウ」「フウウウ」これを三度やる。なぜかあくびが出てくる。

さて、ぶつさんの出番です。まず立上って、「一礼二拍手」。立ったまま手はダラリとのぼす。次に首をカクンとおとす。野口体操の虚脱術。「そのまま、そのまま、死んだように、うなだれて」セミの音がジューときこえてくる。

と、どこからか「ウー」。はじめ小さく、そして、だんだんはつきりとサイレンのごときうなりごえを出してきたのは、るり子のみなも。それにあわせて「ウー」「ウー」

このサイレンにおどろいて、神サンが出てきはる。という降神の儀を行っているのだ。

この頃から、一体なにことならんと、うしろで様子をつかがってた神宮警衛の衛士さんの首が、だんだん口口口首。

参拝客は遠まきにして、いっせいに注目。札所の神主は中腰で、立ったり坐ったり。

反原究
毎月1回20日
年間予約購読
▼いま予約読者が僅か4人です。30人が目標です。早く

